会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回野田市青少年問題協議会
議題及び議題ごとの公開又は非公開の別	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長・副会長の選出について（公開） 2. 令和6年度の青少年健全育成活動の取組について（公開） 3. 令和7年度の青少年健全育成活動の取組について（公開） 4. 令和6年度 野田市青少年センター活動報告について（公開） 5. 令和7年度 野田市青少年センター活動方針(案)について（公開） 6. その他（公開）
日 時	令和7年2月14日（金） 午後1時15分～2時15分
場 所	野田市中央公民館 講堂
出席者氏名	<p>会 長：伊藤 稔</p> <p>副会長：染谷 篤</p> <p>委 員：飯塚 祐子、瀧川 雅子、大塚 美佐子、 石山 美代子、梅澤 弘道、小俣 悦子、 白石 卓秀、長谷川 昌男、上村 智広、 武田 光弘、森 功、弦巻 文雄、 中山 武史</p> <p>事務局：鈴木 有（市長） 生嶋 浩幸（教育次長 兼 生涯学習部長） 安藤 剛行（生涯学習部参事 兼 生涯学習課長） 高林 雅行（生涯学習部主幹 兼 生涯学習課長補佐） 松井 智生（生涯学習課副主幹 兼 青少年係長 兼 青少年センター所長）</p>

	<p>木村 智幸（生涯学習課青少年係主査）</p> <p>鈴木 由香里（生涯学習課青少年係主任主事）</p> <p>オブザーバー</p> <p>竹迫 和幸（野田警察署生活安全課少年係警部補）</p>
欠席委員氏名	<p>芝田 栄太郎、今尾 貞次、倉持 和巳、新家 とし子、</p> <p>横尾 紀秀、新 玲子、小熊 良、藤本 司、</p> <p>三輪 政道</p>
傍聴者	1人
議事	<p>令和6年度第1回野田市青少年問題協議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。</p>
<p>1 開会</p> <p>事務局から会議が成立していることの報告及び会議の公開、会議録作成のための録音機の使用、傍聴者についての説明並びに会議資料の確認を受ける。</p> <p>2 市長あいさつ < 挨拶 ></p> <p>3 委員紹介 < 各委員紹介 ></p> <p>4 議事</p> <p>【議題1 会長・副会長の選出について】</p> <p>会長の選任</p> <p>市長が仮議長を務め、指名推薦にて伊藤委員が選任された。</p> <p>会長が選任されたため、以後、会長が議事進行を行う。</p> <p>議長（会長）： < 会長挨拶 ></p> <p>市長： < 公務のため、退席 ></p> <p>副会長の選任</p> <p>指名推薦にて染谷委員が選任された。</p>	

副 会 長： <副会長挨拶>

【議題2 令和6年度の青少年健全育成活動の取組について】

生涯学習課長： <事務局説明>

議長（会長）：ただ今の点について御質問、御意見等がございましたら、お願いします。

<意見なし>

【議題3 令和7年度の青少年健全育成活動の取組について】

生涯学習課長 <事務局説明>

議長（会長）：ただ今の点について御質問、御意見等がございましたら、お願いします。

<意見なし>

【議題4 令和6年度 野田市青少年センター活動報告について】

<事務局説明>

議長（会長）：ただ今の点について御質問、御意見等がございましたら、お願いします。

<意見なし>

【議題5 令和7年度 野田市青少年センター活動方針(案)について】

<事務局説明>

議長（会長）：ただ今の点について御質問、御意見等がございましたら、お願いします。

<意見なし>

議長（会長）：今回提案させていただきました議案は、全て終了いたしました。長時間にわたりまして御審議を賜りましてありがとうございました。

本日決定した「令和7年度の青少年健全育成活動の取組方針」及び「令和7年度の野田市青少年センター活動方針」に基づき、野田市の子どもたちが健やかに成長するよう、青少年健全育成活動を推進されることをお願いします。

【議題6 その他】

生涯学習課長：皆さまにお集まりいただいておりますので、情報交換をさせていただきたいと思います。最近の青少年の話題につきましては、闇バイトやSNSトラブルなどが、よく報道されております。そこで、インターネットやSNSに関する情報をいただけたらと思います。

議長（会長）：事務局から説明があったとおり、まずはインターネットやSNSトラブルをテーマにして、皆さんにいろいろな御意見を頂きたいと思います。
それでは御意見のある方、お願いしたいと思います。

森 委員：SNSを介した友達同士のトラブルや闇バイトに関わりそうな事案が様々なところで報告されています。各学校では、児童生徒だけでなく、保護者にも正しいSNS利用法等についての啓発活動を行っています。一例を申し上げますと、株式会社教育ネットが実施する「お助けネット出張支援」では、学校ごとへの資料の提供や、保護者会での保護者向けや教職員向けの講演も行っていただいています。学校により実態が異なりますので、全ての学校で実施されるわけではありませんが、実態に応じて講師を派遣していただいています。教育委員会としましても、児童生徒が被害者にも加害者にもならないよ

うに丁寧に指導を行い、教育長を始め私どもからも、校長会や教頭会など様々な研修会で繰り返し話をして重要性を伝えているところです。

議長（会長）：教育委員会の立場から、SNS インターネット等のトラブルについての取り組みを紹介していただきました。

本日はオブザーバーとして野田警察署の竹迫様が出席されていますので、野田警察署の方から何か情報がありましたらお願いします。

野 田 警 察：SNS やインターネットに関連するトラブルについて、昨年末、野田警察署で闇バイトに関する逮捕の事例がありました。警察は継続的に周知活動を行っており、高校などへのチラシ配布や、相談者からの情報や了承を得たうえで、警察の方で保護対策をするなどの対策により相談しやすい環境を作る努力をしています。最近、インスタグラムやSNS を通じて出会った見ず知らずの相手から裸の画像を要求され、送付後に脅迫されるケースが野田市内で数件発生しており、警察はこれに対しても対応しています。今後も含めて、インターネット教室等を通じて治安維持ができればと思っております。発生した事案については事件の捜査として対応しております。

議長（会長）：今朝のニュースでも東南アジアで日本の高校生が闇バイトで被害を受けたニュースが流れました。野田市も同様に、教育委員会あるいは地域の皆様としっかりと取り組んでいただいているということで、ありがとうございました。

次に、学校教育現場の状況についてもお願いしたいと思います。

上 村 委 員：一般的に最近の SNS トラブルに関しては、コミュニケーションツールとして便利である一方で、必ずトラブルがついて回ります。人間関係の悪化や長期欠席、いじめの問題が懸念されており、指導を継続して行っています。また、スマートフォンを持つ年齢の低年齢化で、本校では小学校 1 年生でも数名がスマートフォンを所有している状況です。所有していない子どもにおいても保護者のスマートフォンを使用している子どもが多く、事前のトラブル防止に向けた保護者もともに知識や研修が必要です。長期休業前には、必ず指導を行っているところです。

闇バイトの問題については、小学校の児童には関連が少ないと考えられますが、数年後には中学生や高校生になることで身近な問題となってきます。そのため、警察の方に来ていただいて、薬物の乱用防止教室などを通じて話をしてもらい、SNS を通じた売買関係の危険についても理解して防止できるように努めています。

インターネットでコミュニケーションが広がることは良いことですが、使い方によってはトラブルに巻き込まれる可能性があるため、学校全体で問題意識を持って取り組んでいきたいと思います。

議長（会長）：小学校ではスマートフォンの所有が年々低年齢化をしており、子どもが所有していなくても、親のスマートフォンを使う等の様々なケースが今後も増えていくのではないかと考えられます。

武 田 委 員：中学生も多くの生徒がスマートフォンを持っており、学校外の人とつながるために SNS のやり取りを頻繁に行っているため、昼夜逆転する生徒も見受けられます。大人にとってもス

スマートフォンは身近であり、電車で見るとほとんどの人がスマートフォンを操作しています。その結果、子どもたちも大人が使っている便利なツールを使いたいと考えるようになると思います。このため、学校では生徒指導として SNS の使用に関する指導を行っています。今年度は、イノシシの出没情報や不審者の情報があり、注意喚起のためパトロールを行っていますが、外で遊ぶ子どもたちの姿はほとんど見なくなり、スマートフォンを触っている時間が多い時代になったように感じています。このような時代に SNS を適切に使わせるためには、教員自身も知識を広げていく必要があると思っています。

コロナ時代に 1 人 1 台の端末タブレットが配られました。特に中学生や高校生では授業でのタブレット使用が多くなっています。入試の出願がインターネット化され、スマートフォンやパソコンの操作ができなければ受験ができなくなってきました。このようなことから、家庭内でのパソコンや親のスマートフォンを利用するため、子どもたちとは、しっかりと話をしていかなければなりません。各学校で情報モラル教室を通して SNS の危険性を教えているものの、私たち自身も勉強して新たな技術の進化に追いついていかなければなりません。最近では、全校生徒との面談した中で、ほとんどの生徒がテレビを余り見ないで、スマートフォンを使って動画を見ることが多いと分かりました。やはり身近になりすぎて抑えが効かなくなり、闇バイトなどの問題につながっていると思います。学校では子どもたちに、知らない人との SNS での個人情報や ID の交換をしないように指導していますが、教員や保護者もその実態を把握していないことが多いと思います。トラブルを食い止める策はなかなか出てきませんが、トラブルが発生した際には、すぐに大人に相談するよう指導

し、自分たちで解決できないときは、必ず大人が助けると話をしています。SNS 上でのコミュニケーションの難しさとして、文字だけでは相手の感情を読み取れないことが多いと感じています。「もういいよ」という言葉一つでも、受けた側で捉え方が違うため、誤解を招くこともあると思います。そのようなときは、やはりきちんと面と向かって「お話をした方がいいよね」という指導をしています。いろいろ指導の方法などを教えていただきたいということと、私たちもそういう情報をなるべく多く入手して、こうした指導方法を更に充実させたいと考えております。

議長（会長）：小中学校の現状等について先生からお話を頂きました。そのほかに御意見等ありましたらお願いします。

＜特に意見なし＞

議長（会長）：コロナ禍において、子どもたち全員にパソコンやタブレットが配布されて、スマートフォンもタブレットと同様の機能を持ち、家族で見ていたテレビもスマートフォンやネット視聴が可能になりました。この状況において、教育関係者や地域の人々、保護者が子どもたちをどのように見守り、教育的に活用していくのかというのは新たな課題です。そのため、協議会での意見交換を通じて、健全育成の新しい方向が見えてくるのではないかと思います。

それでは本日の議題はこれで全て終了いたしました。

これをもちまして私の議長の解かせていただきたいと思います。

長時間にわたりまして、各委員の皆様のご会議出席、情報提供、誠にありがとうございました。

司 会：事務連絡後、午後 2 時 15 分、閉会を宣言